※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー名:沖縄県立総合教育センター 友利 久美子

平成 29 年度 第 2 回「副校長・教頭等研修」 平成31年度第1回「カリキュラム・マネジメント指導者養成研修」

活動名:

カリキュラム・マネジメント実践部門

解決すべき課題:支援機構の研修で学んだ、「評価・改善し続ける」視点で、振り返りを次に生かす実践を行 い、論理的思考力の育成に向け全職員で取り組んだ。

目標・方針:今までの実践を大切にしながら、新たな視点で見直し、可視化・共有・共通実践を子供と先生 とセンター主事で一緒に子供のよさ増やしながら、学校教育目標の達成を図る。

活動内容: 【教科等横断的な視点 】 「単元配列表 |を活用しゴールと手立てを児童・教師で共有(写1)

【PDCA サイクル】 学校教育目標の具現化に向け、指導案に育成を目指す資質・能力である論理的思考力 の評価と授業のどこ場面でみとるかを明記し、意識化と共有化を図った (写2)

【人的・物的資源の活用】外部人材(センターの主事)を活用し、振り返りを次につなぐ研修で、全職員のベク トルを揃えて学校教育目標の具現化を図る実践 (図1)

活動の成果:全国学力学習状況の算・国の結果が例年は県・市の平均を下回っていたが、はじめて昨年度を 今年度は、市の平均を上回り、県平均にも近づく結果となった。また、教師を対象のアンケート で、「学校教育目標を意識して授業をするようになった」という設問に対し、肯定的な回答が 45% (4月)→100% (11月)に変容。

アピールポイント(アイディアや工夫):

- 1. 「単元配列表」の活用で、子供・教師で外部とゴールやねらい、手立てを共有した実践を行った(写1)
- 2. 「単元配列表」を活用し、子供と一緒に振り返りを行い、評価を次に生かし続けた(写1)
- 3. 各教科の指導案に学校教育目標と目指す資質・能力を明記し、意識化、共有化を図った(写2)

※事務局記入欄

【様式2】

No. A-58

「論理的思考力の育成し 学校教育目標・目指す児童像

図1 外部の人材を活用した校内研修の1年のながれ

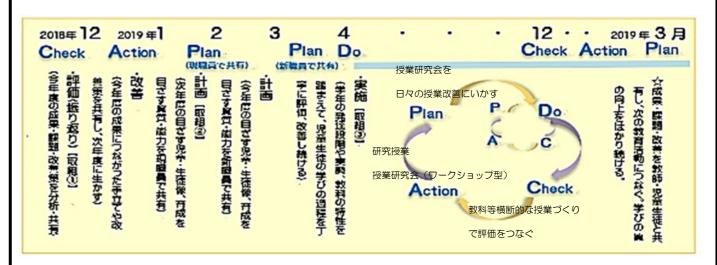


写真1 子供と1年後のゴールや単元のねらいの共有と振り返りで活用した単元配列表(縦1.5m横3m 学年掲示板に掲示)

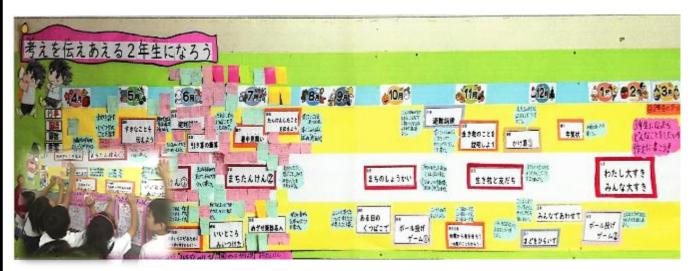
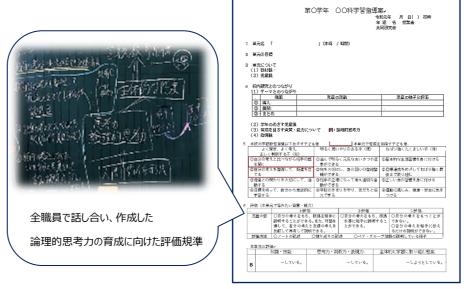


写真 2 学校教育目標・目ざす資質・能力を明記した指導案



場面・					児童生徒の姿	
学習課題をつかむ	皆無難をつかむ 児童が苦えやすい質問をする。(設望とのつむがりを意識 する)※質問内容が自分の考えをもつセントとなる。			思想にかかれた言葉を見て、自分 なりに考えをかくことができる。		
自分の考えをかく	視点を設けて話をする。→			自身のある視点でノートに記述す		
グループ学習シ	※堆料学習内容と社会既習事項。 「視点 3つから自分の考えをかくことで交流を通して自				で放送の考えを聞い	
	分の考えを比較り	ン、 新たな気づきにっなげる	* '	いたり、放送	 研たな視点に気色 2の考えを認めたり号 2030がある。 	
) 本時の展開・						
· 学習活動 Of	ene.	予想される児童生徒の反		動物医者力 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	学校教育目標 · 日さす児童主能像。	
3 1 学習課題8 入 ・・	50pp.	-				
2 BBTE	50					
展 3 首力解決・					₩-0).	
# 5 #E&&					ASHARDIP.	
8					91 − Ø.	
20-					DCAZ	
数 6 扱り返り≠ り [44]b					DCR2-	
2 契関に思っ 3 友達のいい 4 次の学習で	考え。 情報問りたいこと やりたいこと					
被告計画・ 超高表:模革時の机 B・	内操事で後用 C C	(6の評価 (字単元で百か) <u>悪 数</u> A A	EV·提展·	MEDI) : A -	B · C) .	